

編集後記

五二巻一号をお届けする。前野良沢・福沢諭吉らを生み出した中津で開催される第一〇七回総会・学術大会の抄録号である。講演三題・シンポジウム五題に、一般口演六三題を加えて一六〇頁を越えた。演題数が多いことは投稿論文の増加にも連なり、まことにご同慶のいたりである。盛会が期待される▼抄録号では毎回述べていることだが、今回も編集委員が手分けして校正を代理した。しかし誤植等を見逃してしまふこともなしとはしない。万が一、誤植等があれば本委員会の責任ではあるが、なにとぞ寛容くださるようお願い申しあげる▼なお会期との兼ね合いで六月二〇日発行の第二号を抄録号とはできず、本号を抄録号とした。しかし予定の三月二〇日の発行では会期よりかなり早いので、実際は四月初旬に会員のお手もとに届くことと思う▼については昨年の投稿論文で、すでに受理が確定しているのに、次号に掲載するしかないものが出てしまった。本誌は抄録号を除くと年三回しか論文を掲載できる号がなく、投稿から掲載までの間には査読もある。このため、場合によっては掲載まで半年ほどかかってしまふのはご容赦いただくしかたない▼しかし半年以上もかかるのは問題であり、著者にはまことに申し訳ない。こうした事態を打開するため、査読制度を一部改訂した。査読内容にも生命倫理と個人情報についての項目を新たに加え、すでに実施し始めている。時代変化に対応するためだが、この点もどうぞご理解いただきたい。(真柳 誠)

漢方医学の臨床家必読の書!

浅田流漢方の大家・安西安周の生涯の研究成果を網羅!

安西安周選集 全四巻

長谷川弥人 編 / 矢数道明 序

本書の特色

A5判 / 上製 / 函入 / 総約2,200頁
四巻揃 本体 80,000円 (分売不可)

■長谷川弥人 (はせがわ・みつと)



明治四十五年生まれ。昭和十年、慶応大学医学部卒業、同内科勤務。昭和二十一年慶応大学医学部講師、三十年同助教授、四十六年教授となり、五十二年定年退職。以後五十七年まで客員教授。昭和三年頃より木村清世塾において、木村博昭先生以下諸先生の薫陶を受け、漢文を新田興先生に学ぶ。

- 本書は、学祖・浅田宗伯の弟子、木村博昭師に浅田流漢方を学んだ安西安周の生涯の研究成果を一挙に網羅した選集である。
- 本書は、全四巻、七篇から成り、第一篇「漢方医学」、第二篇「史論」、第三篇「医学者の評伝と逸史」、第四篇「われらの先駆者」、第五篇「杏林詩人」、第六篇「掃苔記」、第七篇「雑論」に分けられている。
- 本書は、漢方医学の臨床家および研究者の利便に供する書であり、まことに興味深い史実や逸話、資料・文献等も収録された貴重な選集である。

お申込み
お問合せ

▶たにぐち書店

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-49-1

フリーダイヤル

0120-811-813

フリーFAX

0120-811-817